

会 議 録

平成20年8月28日調製

審議会等名	平成20年度 第1回 生涯学習推進会議		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成20年8月8日(金) 午後2時～3時15分		
開催場所	三条市役所三条庁舎 2階大会議室	傍聴者	なし
		報道機関	1名
出席者氏名	生涯学習推進会議委員		
	丸山正夫委員 小林邦雄委員 岡田竜一委員 米山俊彦委員		
	内山鐵太郎委員 田中正男委員 堀善一委員 桑原晴美委員		
	三 条 市		
	長谷川市民部長 金子生涯学習課課長 近藤涯学習課課長補佐		
	小林生涯学習係長 山田主事 武藤主事		
	(欠 席 者)		
	森久委員 渡辺素文委員		
議 題	(1) 組織機構の見直しについて		
	(2) 平成19年度三条市生涯学習実施計画・実施状況について		
	(3) 平成20年度三条市生涯学習実施計画・実施状況について		
	(4) その他		
発言内容等			
田中会長	<開会のあいさつ>		
長谷川部長	<市民部長あいさつ>		
田中会長	新たに委嘱された委員もいるので、自己紹介をお願いしたい。		
	<委員自己紹介>		
	<事務局自己紹介>		
田中会長	では、次第に従って議題を進める。(1)「組織機構の見直し」について、事務局から説明を願いたい。		
金子課長	<組織の見直しについて資料により説明>		
田中会長	今ほどの説明をうけて、意見・質問等あれば伺いたい。		
田中会長	教育委員会から市長部局に移って困った点はあるか。		
金子課長	困った点という事ではないが、青少年健全育成を一つの柱とし、力を入れ		

	てきたが、組織の見直しで当該事務が子育て支援課に移管された。それに代わり、団塊の世代の学習支援に力を入れるなど、違う柱を模索しているところである。
田中会長	社会教育協会の会議の中で、三条市の組織機構が変わり、子育て支援に関する窓口が一本化し、分かりやすくなったという意見を聞いた。 それでは、(2)「平成19年度三条市生涯学習実施計画・実施状況」について、事務局から説明を願いたい。
小林係長	時間の関係もあるので、議題(3)「平成20年度三条市生涯学習実施計画・実施状況」についても一緒に説明させていただきたい。
田中会長	では、議題(2)、(3)について説明を願いたい。
小林係長	<資料に基づき説明>
田中会長	事前に提出している提案シートの内容も含め、意見等を頂きたい。
丸山副会長	資料について、主要施策毎に事業数をいれるだけでなく、トータルの事業数も入れ、全体としての比較が一目で分かるようにしていただきたい。
堀委員	数字に表れない部分で、どのように内容が変わっているのか、参加者の枠がどの程度広がっているのかが分かるようにしていただきたい。また、延べ人数だけでなく参加者実数などの比較が出来るようにしていただきたい。
金子課長	数字的な評価と質的な評価ということだと思うが、数字的评价については、平成19年度実施状況と平成20年度の今後の実施状況を見比べ、どのような進展が見られたかが分かる資料を作成したい。
田中委員	より分かりやすい資料の作成に努めていただきたい。
桑原委員	学校開放について、利用状況の実績を各教室別に数字で上げていただきたい。また、体育館の開放については周知がされているが、学校の教室の開放については周知不足であると感じており、先生方についてもどこまで認識されているのか
金子課長	現在、目的外使用という事で学校の教室の開放を行っている。学校で出来る範囲と需要について考えていかなければいけない。現在、コーラス、陶芸の2団体が定期的に使用している。
桑原委員	市民や各団体は、教室は借りられないものと思っており、借用方法も分からないのが事実である。
田中会長	開放するにはどのような問題があるか。
金子課長	学校開放については学校長の同意・許可が必要であり、一般教室は開放しておらず、音楽室などの特殊教室を開放している事例がある。
田中会長	学校開放について、体育館以外の教室についても、積極的に進めていくと考えていいか。
金子課長	生涯学習の観点から検討していきたい。

田中会長	米山委員は校長の立場でどのようにお考えか。
米山委員	大いに使っていただきたいと思っているが、施設設備関係で問題がある。 新設の学校は、社会教育と一緒に出来るような建物となっているが、既設の学校はそうっておらず、不審者侵入の問題など色々な事を考慮すると、管理上の問題で積極的な学校開放を行うことは難しいのが現状である。
田中会長	新設の学校は特別教室までの通路を工夫するなど管理上の問題に配慮してあるが、既設の学校での開放は難しいということであるが、要望が出てきた際には、ご配慮願いたい。
小林委員	生涯学習は幅が広く、育成センター事業や子育て支援事業などについても生涯学習推進計画に登載しているが、個々の審議会等で個別に審議等しているものを、推進計画に登載してよいものか。
田中会長	様々な審議会等と、生涯学習推進会議との関わりについて、どのように考えているか。
金子課長	生涯学習推進計画を策定する際にも問題としてあがったが、生涯学習推進計画の事業の中に取り込んでおり、県並びに他市町村も同様の取り扱いをしている。個々の審議会等との関わりについては、生涯学習の観点から、個々の審議会等で事業の推進をしていただきたい。
小林委員	公民館事業のスポーツ大会は生涯スポーツとして捉えているのか。
金子課長	生涯スポーツとして捉えている。公民館事業は幅広い分野を網羅しており子どもからお年寄りまで、座学だけでなく体験活動やスポーツなど、トータルな社会教育機関として考えていただきたい。
田中会長	生涯学習の概念は全ての学びを包含しており、生涯学習課はそれらの取りまとめ役としての役割を担っていただきたい。
丸山副会長	20年度計画に担当者会議が登載されていないが20年度は開催しないのか。担当者会議が続けられることによって、生涯学習の推進がより図られると考えている。登載されていない理由をお聞かせいただきたい。
金子課長	本部・担当者会議は昨年度設置したが、内部の会議であるため、平成20年度生涯学習推進計画には登載しなかったが、今年度も実施する予定でいる。 また、丸山副会長から提案シートで2点提案をいただいているが、1点目が「資料の表記の仕方では新規事業には「新規」の表記があるが、継続事業についても「継続」の表記をしていただきたい。」という事であるが、提案の通り表記したい。2点目が、「生涯学習受講手帳などを作成し、受講者の励みになる取組をしてはどうか。」ということであるが、委員の皆様からご意見いただいたりする中で、検討していきたい。事例として、新潟県が行っている、いきいき県民カレッジがあり、これは、登録してある講座への受講回数によって奨励賞を交付するものである。市町村単位で実施して

	いる事例は知る限りではないと思うが、これについては委員の皆様から意見等頂きたい。
田中会長	新潟県のいきいき県民カレッジに三条市の全ての事業を登録してはどうか。
丸山副会長	公民館の講座を受講しているが、受講歴が分かり節目に表彰を行うことでそれが励みになって、参加が促されると思う。いきいき県民カレッジを活用する場合には、三条市の全ての講座が登録されないと意味がない。三条市独自に行うとなると、お金と手間が係るが、今後検討していただきたい。
小林委員	今の話とは違うが、人気のある講座は、定員がすぐに定員に達してしまうので、先着順ではなく抽選にするなど、より幅広く市民が気楽に申し込み出来るよう配慮していただきたい。
金子課長	広報紙で周知し、広く募集を募っているが、地区によって広報紙の届く日にバラつきもあるため、生涯学習課ではなるべく抽選にしている。他事業についても検討していきたい。
田中会長	なるべく参加希望が叶えられるように配慮していただきたい。
岡田委員	学校開放について、管理面の問題以外に、光熱水費やピアノ調律など費用面での学校負担も大きいと考える。難しいと思うが、予算措置をするなど学校側の負担軽減を図れば学校開放が進むのではないか。
金子課長	今現在は学校が負担している。問題点としてお聞きしておく。
田中会長	学校開放は夜間・土日に開放しているので、やはり費用面よりも管理面での問題が大きいと考える。学校開放での利用者の殆どが地域の人であるが、米山委員は校長の立場で見て、学校と地域の繋がりはどのような状況にあると感じているか。
米山委員	非常に難しい質問である。現状としてはお互いに分かり合っている状況までは至っていない。学校と地域の関係も大事であるが、教育委員会と生涯学習課で学校と地域のつながりについての話し合いを進めて行くことが大事である。
丸山副会長	<閉会のあいさつ> 平成 19 年 3 月に三条市生涯学習推進計画が策定され、推進計画に沿って事業展開がされている。ただ事業をするのではなく、計画、実行、評価のそれぞれをしっかりと行っていただき、特に評価の面を強化していただきたい。長時間にわたる熱心な議論に感謝する。